



岡山金属株式会社
2022 年度 環境経営レポート
(対象期間:2022年 4月~2023年 3月)



発行日: 2023年7月1日

ご挨拶

私ども岡山金属株式会社は、創文久元年(1861年)に備前池田藩より「潰金銀及び古物取扱の鑑札」を受けた時を創業とする、岡山一長い伝統を持つ金属リサイクル企業です。

先祖より受け継いだ「伝統と信頼」を守るため信用を第一に、また経営理念として掲げる「拡大発展・社会貢献・自己実現」を従業員一丸となって守りつつ、限りある地球資源の循環を担う業種として誇りをもって事業活動を行って参ります。

環境方針

当社は、金属くずの収集運搬、加工、卸を主とする事業活動において、本業である産業廃棄物処理業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み継続的改善を図ります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減の為に省エネルギー（電力・ガソリン・軽油・灯油等の削減）に取組みます。
3. 受託した産業廃棄物の再資源化に取組み、リサイクル率の向上を図ります。
4. 排水量(或いは水使用量)の削減に取組みます。
5. グリーン購入に取組みます。
6. 環境に配慮した収集運搬及び処分に取組みます。
7. この環境方針を全従業員に周知致します。

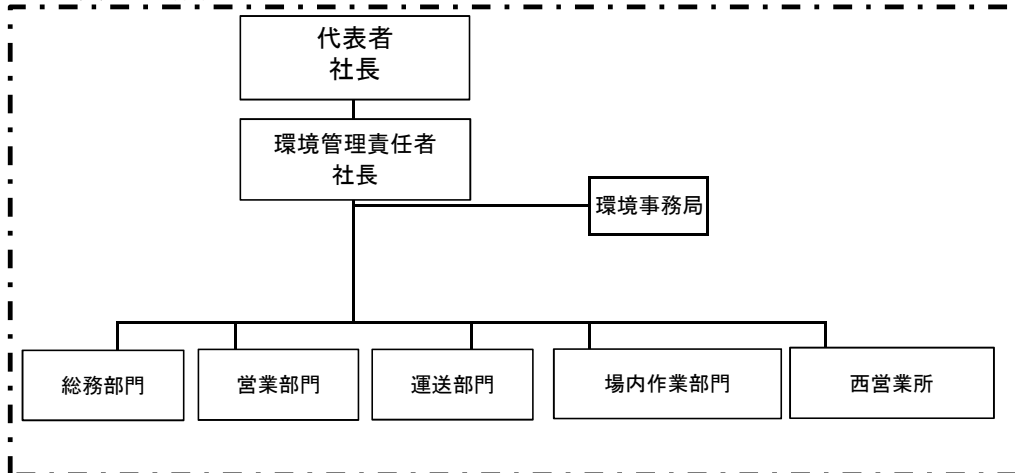
制定日： 2015 年 10月 1日

代表取締役 佐藤 治男

I. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
岡山金属株式会社
代表取締役 佐藤 治男
- (2) 所在地
本社・本社工場 〒709-0625 岡山県岡山市東区上道北方350番地
西営業所 〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾四条4068-6
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 代表取締役 佐藤 治男 TEL : 086-279-0347
担当者 営業部 佐藤 旭 TEL : 086-281-1268
FAX : 086-281-1268
E-mail : okawest07@yahoo.co.jp
- (4) 事業内容
金属くずの収集運搬、加工、卸
- (5) 法人設立年月日 : 昭和13年
- (6) 資本金 : 30 百万円
- (7) 事業の規模
売上金額 1136百万円(2022年度実績)
主要製品生産量 16,787 トン(2022年度実績)
- | | 本社 | 西営業所 | 合計 |
|-------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 従業員 | 24名 | 4名 | 28名 |
| 延べ床面積 | 3308m ² | 35m ² | 3343m ² |
| 敷地面積 | 11590m ² | 2839m ² | 14429m ² |
- (8) 事業年度 4月～翌年3月

(9) 実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 実施体制の構築 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成、実績の確認・評価 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成、実行管理 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(10) 1.主な許可の内容

事業許可名	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲										その他	
				廃棄物の種類											
				燃え殻	廃油	廃プラ	紙くず	木屑	ゴム屑	金属屑	ガラス屑他	がれき類	バッテリー		
産業廃棄物収集運搬許可(岡山市)	08310038859	令和3年5月26日	令和8年5月15日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替え有り
産業廃棄物収集運搬許可(岡山市)	03301038859	令和3年5月26日	令和8年5月15日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替え保管無し
産業廃棄物収集運搬許可(特管)(岡山市)	08360038859	令和4年4月13日	令和9年3月25日										●	●	積替え有り
産業廃棄物収集運搬許可(特管)(岡山市)	03351038859	令和4年8月1日	令和9年7月23日										●	●	積替え保管無し
産業廃棄物処分業許可	8320038859	令和3年5月26日	令和8年5月15日	選別・切断		●		●	●	●	●	●			中間処理
産業廃棄物処理施設設置	(7)-1号	平成9年3月3日		破碎		●				●	●				(選別・切断・破碎)
破碎作業許可	20836000029	平成26年7月1日	令和6年6月30日												
第一種フロン類回収	331110027	令和4年2月27日	令和9年2月26日												
フロン類引取業	20831000029	令和4年6月14日	令和9年6月13日												
計量証明事業登録	2-1020	平成4年2月15日													
古物商許可	721060013909	平成8年2月8日													

2.積替え保管の詳細

事業許可名	住所	面積	保管上限	高さ
産業廃棄物収集運搬許可(岡山市)	岡山市東区上道北方350(一部)	200㎡	87㎡	1.75m
	岡山市南区妹尾四条4068-6	2839㎡	29㎡	1.75m
産業廃棄物収集運搬許可(特管)(岡山市)	岡山市東区上道北方350(一部)	200㎡	5.33㎡	1m

3.中間処理・事業の用に供するすべての施設

施設の種類の	住所	処理能力
(1)選別施設	岡山市東区上道北方350	47.6t/日(金属くず換算、8h/日稼働)
(2)切断施設		40t/日×1基、89.6t/日×1基(いずれも金属くず換算、8h/日稼働)
(3)破碎施設		23.2t/日(廃プラ類換算、8h/日稼働)

(11)施設等の状況

■本社工場主要設備

- 400kw 鋼屑シュレッダプラント (5~7t / h)
- 600t ギロチン式オールマイティシヤ- (5t / h)
- 1000t ギロチン式シャ-リング機(11t / h)
- 25kN スクラップローダ
- 4.9t クラフトロリ式天井クレーン
- 油圧ショベル(0.7クラス)4台
- 2.5t ホイルローダ-
- 他

■西営業所主要設備

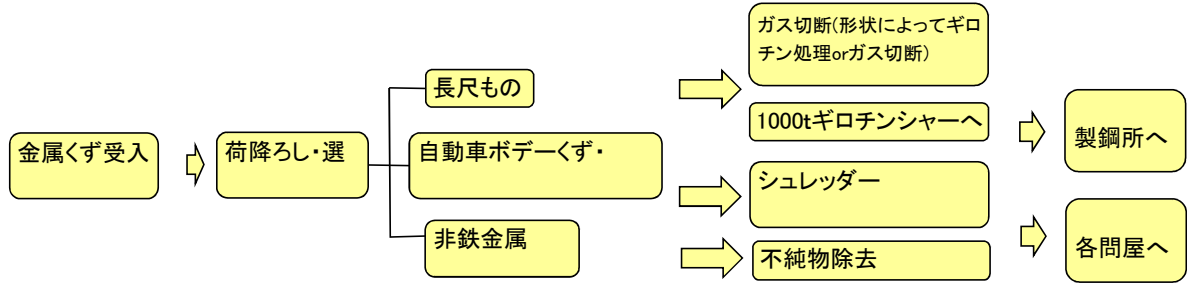
- 油圧ショベル(0.7クラス)1台
- 2.5t ホイルローダ-

(対象期間:2022年 4月~2023年 3月)

■産業廃棄物収集運搬用車両

車種	台数	車種	台数
大型ダンプ	3	大型ヒアブ	6
4tユニツク付き	1	6t平ボディ-	1
2t平ボディ-	1		

■作業工程



(12)2022年度処理実績

●金属くず

総入荷重量(t): 16,787
 うち自動車ガラ(t): 2,385
 総出荷重量(t): 16,662

●産業廃棄物

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
自動車ガラ	t	※1 不明(自社運搬・他社持込)
廃プラ (廃プラ・金属混合物)	t	51.08
木くず	t	36.81
合計	t	87.89

※1 顧客持込分と弊社引取分の区別は付けていない為、収集運搬量は算出できない

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
自社での最終処分は行っていない		t	
合計		t	

(ii) 中間処理

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
自動車ガラ	破砕選別	t	2,385.00
廃プラ (廃プラ・金属混合物)		t	51.08
木くず	選別	t	36.81
鉄くず(自動車ガラ)(70%)※1	製鋼原料	t	1,710.37
廃プラ(自動車ガラ)(30%)※1	持込先にて再生利用・サーマルリサイクル	t	715.50
廃プラ(自動車ガラ分替)(廃プラ)※2	持込先にて再生利用・サーマルリサイクル	t	10.22
木くず	持込先にて再生利用・サーマルリサイクル	t	36.81
小計		t	2,472.89
合計		t	2,472.89

※1 (一社)自動車工業会HP(<https://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/201303/01.html>)より算出

※2 2020年度営業実績より算出

(iv) 中間処理後の産業廃棄物 (最終処分・中間処理・再資源化等)

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
鉄くず	破砕選別	t	1,710.37
廃プラ	再生利用・サーマルリサイクル	t	725.72
木くず	再生利用・サーマルリサイクル	t	36.81
小計		t	2,472.89
合計		t	2,472.89

※金属くず・自動車ガラの自社運搬分・他社持込分の分別計量は行っていないため、収集運搬量は算出不可

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 岡山金属株式会社
 対象事業所: 本社、本社工場、西営業所
 対象外: 無し
 活動: 金属くずの収集運搬、加工、卸

III. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	621,771	643,691	552,479	569,874	497,319
電力使用量	kWh	363,816	415,745	346,237	362,198	310,636
ガソリン使用量	L	7,346	7,765	8,165	4,987	4,838
軽油使用量	L	108,146	98,213	89,632	94,762	82,141
灯油使用量	L	14,534	14,848	10,079	8,304	9,138
A重油使用量	L	5,975	8,894	7,995	9,535	8,179
一般廃棄物	kg	77.0	72.5	57.5	50.5	39.5
産廃受託量	t	45	75	56	86	87
産廃受託量(自動車ガラ)	t	2,616	3,332	2,754	2,852	2,385
産廃排出量	t	1,445	1,853	1,510	1,454	1,322
総排水量	m ³	720	693	833	814	865

注.LPG使用量は少量のため、削減活動は行方が設定はしていません

IV. 環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目	年度	2014年度	2022年度			2023年度	2024年度	2025年度
		基準年度	目標	実績	達成可否	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	572,474	526,676	497,315	○	520,951	515,227	509,502
	対基準(%)	100	92	87		91	90	89
①電力使用量削減 係数: 0.738 (H26・2014年度 中電)	kWh	333,983	307,264	310,636	×	303,925	300,585	297,245
	kg-CO ₂	246,479	221,832	229,249		221,832	221,832	221,832
	対基準(%)	100	92	93		91	90	89
②ガソリン使用量削減 係数: 2.32	L	11,296	10,392	4,838	○	10,279	10,166	10,053
	kg-CO ₂	26,225	24,110	11,224		23,848	23,586	23,324
	対基準(%)	100	92	43		91	90	89
③軽油使用量削減 係数: 2.58	L	78,356	72,088	82,141	×	71,304	70,520	69,737
	kg-CO ₂	205,632	185,986	211,924		183,964	181,943	179,921
	対基準(%)	100	92	105		91	90	89
④灯油使用量削減 係数: 2.49	L	29,527	27,165	9,138	○	26,870	26,574	26,279
	kg-CO ₂	73,579	67,640	22,754		66,905	66,170	65,435
	対基準(%)	100	92	31		91	90	89
⑤A重油使用量削減 係数: 2.71	L	7,587	6,980	8,179	×	6,904	6,828	6,752
	kg-CO ₂	20,560	18,916	22,165		18,710	18,505	18,299
	対基準(%)	100	92	108		91	90	89
II. 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物の削減 (2016～集計)	kg	63.4	60.2	39.5	○	59.6	59.0	58.3
	対基準(%)	100	97	62		97	96	95
III. 水使用量の削減	m ³	496	456	865	×	451	446	441
	対基準(%)	100	92	174		91	93	92
IV. 化学物質適正管理		取扱い無し						
V. グリーン購入 (エコ品/全品目(%)) (2015～集計)	割合(%)	42.2	44.7	34.4	×	45.2	45.6	46.0
	対基準(±%)	0	基準年+6%	-7.8		基準年+7%	基準年+8%	基準年+9%
VI. 環境配慮 取扱量(仕入れ重量)の増加	t	20,394	22,026	16,787	×	22,229	22,433	22,637
	対基準(%)	100	108	82		109	110	111
VII. 会社周辺の清掃		1回/年	1回/月	1回/月	○	1回/月	1回/月	1回/月
	対基準(%)		継続	継続		継続	継続	継続

注1. 電力による二酸化炭素排出量は、中国電力(株)の平成24年度の二酸化炭素
実排出係数 0.738 kg-CO₂/kWhを用いて算出した。

注2. LPG使用量は少量のため、削減活動は行うが設定はしていません

V. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画(達成手段)	達成状況	次年度予定	評価結果と次年度の取組内容
I. 二酸化炭素排出量総量の削減	○		
・下記の通り			目標未達。内容は以下の通り。
電力による二酸化炭素排出量の削減	×		
・エアコンの温度管理	○	継続・変更	基準年に対する目標値が厳しいため未達成となっているが、エネルギー消費に対する意識の向上・取扱量の減少の為、前年比は減少している。
・処理工程の効率化	○	継続・変更	
・照明管理	○	継続・変更	
・省エネ機器の導入	△	継続・変更	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン、軽油)	△		
・アイドリングストップ	○	継続・変更	基準年に対する目標値が厳しいため軽油の使用に関しては未達成となっているが、CO2排出抑制の呼びかけの成果・取扱量の減少の為、前年比は減少している(5-03参照)
・効率的なルートでの営業	○	継続・変更	
・適正な車両の整備	○	継続・変更	
・エコドライブ	○	継続・変更	
重機など燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油、灯油、重油)	×		
・アイドリングストップ	○	継続・変更	入荷製品の形状などにより、機械稼働率が上がると燃料使用量も増加する。
・適正な機械の整備	○	継続・変更	
・作業工程を減らす計画	○	継続・変更	
II. 廃棄物排出量の削減(一廃)	○		
・裏紙使用の徹底	○	継続・変更	前年度よりも数値は大幅に減少。デジタル化の効果も多少出ているように思える。
・個々の意識の向上	○	継続・変更	
III. 水使用量の削減	×		
・節水意識の向上	○	継続・変更	市況や環境問題による入荷品目の違い、取扱量増加などに伴うSHプラント稼働率の増加で水使用量も増加している。
V. グリーン購入	×		
・事務用品のグリーン購入比率向上	×	継続・変更	引き続き努力する
・省エネ型機器の購入	×	継続・変更	
VI. 環境配慮(取扱量の増加)	×		
・環境配慮に注目した営業活動	○	継続・変更	市況の変化に伴い取扱量は減少。使命感を持ち、市況に負けない営業力を意識して目標達成を目指す。
VII. 会社周辺の清掃	○		
・月に一度の会社周辺の清掃	○	継続・変更	月に一度の会社周辺のゴミ拾いは継続している。また、その他の営業活動に絡め清掃の機会は増えてきている。従業員の間でも習慣になってきており、いい傾向である。

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※【IV. 化学物質】の項目は省略

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃掃法	許可更新、マニフェスト管理など	遵守
自動車リサイクル法	許可更新、移動報告	遵守
振動規制法	機器設置・使用に伴う振動の把握、対応	遵守
消防法	各危険物(主に油類)の管理	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置、管理	遵守
悪臭防止法	事業活動に伴う悪臭物質の把握、対応	遵守
高圧ガス保安法	高圧ガスの取り扱い	遵守
フロン排出抑制法	定期点検(事務所エアコン、重機エアコン)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し

パンデミック、海外情勢を受けた半導体や輸出入の状況などにより弊社を含めた製造業におきましても厳しい年となりました。

前述の状況に加えて、リサイクル業の一面も持つ弊社としては、カーボンニュートラルやSDGsの流れにも大きく左右されます。

伝統と歴史を大切に営業を続ける弊社ですが、それにあぐらをかくことなく足元を常に見つめ、実直に活動を続けていきたいと思っております。

2023年7月1日

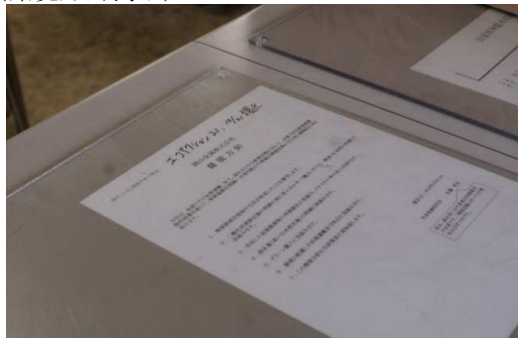
代表取締役 佐藤 治男

□環境活動の紹介

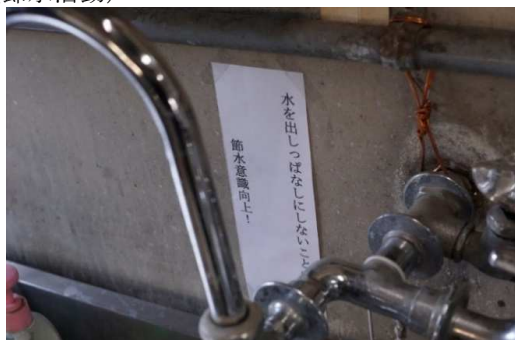
(会社周辺の清掃)



(環境方針掲示)



(節水活動)



(電力デマンド計)

